

【放射線科】

画像検査の読影と診断について

国吉病院

医師 小松 幸久 さん



国吉病院では、放射線科で一般撮影(胸部、腹部、骨関節の写真)、コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像装置(MRI)の画像が撮られております。それら画像を放射線科読影専門の医師である私がすべて読影し、なるべく当日の診察に間に合うようにいたします。それを担当医師の先生方が読み、臨床症状や他の検査所見を参考に患者さまに説明すると

いう流れになっています。読影にはどうしても時間がかかりますので、少しお待ちいただいております。一番難しいのはどんな病態の画像診断かと聞かれるときがありますが、「胸部写真も難しいが、最も難しいのは骨折の診断だ」と答えています。手間のかからない検査が、読影が難しい傾向にあります。外科系の研修医も、当直のときに一番困っているようです。近年、

画像の量が多く、かつ情報量も大量で、専門の読影医師が必要ですが、読影情報の確実な伝達もまた、重要です。最近、読影結果伝達の漏れが問題になっていますが、読影医師が少なく、読影の報告が遅延することが、問題の一つなのかもしれません。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他